

令和8年1月八幡平市定例記者会見

日 時：令和8年1月7日(水) 午前11時～
場 所：八幡平市役所 大会議室



1 開会

2 市長挨拶・発表項目の説明

- (1) **A Iを活用したオンデマンドバス「よぶきた八幡平」を実証運行**
 - 松尾地区のコミュニティバス定時定路線運行を2月1日から切替 –
- (2) **松尾地区統合小学校の歌詞に使ってほしいワードなどを募集**
 - 保護者や地域住民の思いを松尾地区3小統合校に吹き込む –
- (3) **働きやすい環境整備のため不当要求行為等対応マニュアルを改定**
 - カスタマーハラスメント対応を強化 –
- (4) **「フレイル予防講演会」を開催します**
 - いつまでも心身ともに健康でいるためのポイントを学びます –
- (5) **「ごみ減量化を考える市民の集い」を開催します**
 - 本市のごみ処理の状況を共有し、家庭でのごみ減量化の契機に –
- (6) **地域事業者の宣伝力向上を目的に、メディアセミナーを開催**
 - 市内事業者が、ニュース価値を理解した情報発信力を学びます –
- (7) **令和8年八幡平市議会第1回臨時会を開催します**

3 質疑応答

4 その他

5 閉会

※ 次回の定例記者会見

日時：令和8年2月3日(火) 11時00分から

場所：八幡平市役所3F 大会議室



プレスリリース

A I を活用したオンデマンドバス「よぶきた八幡平」を実証運行

松尾地区のコミュニティバス定時定路線運行を2月1日から切替

【発表の要旨】

地域公共交通の利便性と効率性の向上を図るため、市では松尾地区において、A I オンデマンド交通「八幡平市予約バス(愛称：よぶきた八幡平)」の実証運行を行います。

これにより、2月1日から松尾地区(大花森線・前森線)のコミュニティバス運行が、
^{*}これまでの定時定路線の運行から、オンデマンドバス運行に変更となるものです。

※平日運行のため、実際の運行は2月2日(月)からとなります

1 実証運行内容

- 1) 松尾地区を定時定路線で運行している市コミュニティバス大花森路線、前森路線をオンデマンド運行に切り替えて実施(朝2便は一部区間変更の上、引き続き定時定路線運行を維持)
- 2) 「松尾地区内の移動」と「松尾地区と大更、平館駅周辺を結ぶ移動」に対し運行
- 3) 実証運行により利便性、運行効率の向上効果を検証

2 実施期間

令和8年2月～3月(令和8年4月以降も数カ月間引き続き実施予定)

3 運行エリア

- 1) 松尾地区内での移動(大花森路線、前森路線沿線)
- 2) 松尾地区内と大更駅・平館駅周辺を結ぶ移動
※大更駅・平館駅周辺エリア内ののみの移動は不可



4 乗降場所

既存バス停および仮想バス停(全141カ所)
※ごみ集積所などに仮想バス停を想定

5 運行時間

平日9時～16時

6 運賃

実証運行期間中は1乗車100円で実施

7 利用予約の方法

電話かアプリで予約(電話番号等は、開催予定の説明会(下記)に合わせて、公開予定)

8 よぶきた八幡平の説明会

松尾地区の市民を対象に、よぶきた八幡平の利用方法について、説明会を開きます。

開催日	時間	会場
1月26日(月)	10:30～12:00	市役所多目的ホール棟
	13:30～15:00	南寄木集落センター
1月27日(火)	10:30～12:00	松尾コミセン
	13:30～15:00	柏台地区センター

よぶきた八幡平とは

従来のバスとは異なり、時刻表や決まった運行ルートがなく、運行エリアに乗降場所となるポイントを設定。利用者の予約状況に応じて、A I(人工知能)が効率的な配車と最適な運行ルートを選択して走る乗り合いバスです。

「呼んだら来る便利なオンデマンドバス」をイメージして名付けました。

【担当】

市民部まちづくり推進課 地域振興係
係長 種市 篤志
電話: 0195-74-2111 (内線 1453)

プレスリリース

松尾地区統合小学校の校歌「歌詞」に使ってほしいワードなどを募集

保護者や地域住民の思いを松尾地区3小統合校に吹き込む

【発表の要旨】

市教育委員会では、令和9年4月の開校に向けて準備を進めている、松野小学校、寄木小学校、柏台小学校の3校統合校の学校運営について具体的な検討を進めています。

このたび、学校とともに歩み、支えてきた住民の思いを受けとめるとともに、地域の願いなどを学校づくりに反映させるため、アンケートを行います。

アンケートでは、校歌に刻みたいワードや、統合小学校に対する期待や不安などを伺います。回答内容は、現在設置している部会で検討し、学校運営に反映させていきます。

1 募集期間 1月8日（木）～ 1月27日（火）

2 応募対象者

- ・松尾地区3小学校の児童の保護者
- ・松尾地区的住民
- ・松尾地区3小学校に勤務する教職員

3 アンケート内容

- ・新たな学校に対しての期待・要望
- ・新たな学校に対しての不安や気がかりなこと
- ・新たな学校の校歌に入れてほしい言葉や地名

詳しくは右のQRコードから（1月8日公開予定）



詳細はこちら

4 応募方法

- ・応募方法：松尾地区3小学校または市教育委員会備え付けの、所定の応募封筒に入れてください。
- ・応募用紙：松尾地区3小学校または市教育委員会で配布しています。

5 その他

※アンケートに先行して、松尾地区3小学校に通う児童を対象に、12月12日から24日までの期間で、統合小学校の校歌に入れてほしい言葉や地名などを募集しました。児童からの応募内容は、今回のアンケートと合わせて、校歌作詞の際の参考とします。

少し説明

市教育委員会では、令和9年4月に開校する松尾地区の統合小学校の学校運営について、具体的な検討を進めるため、統合検討委員会に5つの専門部会を設け、課題の洗い出しとその対応案の検討を進めています。

【担当】

教育委員会事務局 教育総務課
課長補佐 羽沢 りち子
電話 0195-74-2111（内線 1361）



プレスリリース

働きやすい環境整備のため不当要求行為等対応マニュアルを改定

カスタマーハラスメント対応を強化

【発表の要旨】

行政対象暴力及び暴力的不当要求行為等から職員の安全と公務の円滑な執行を確保することを目的に策定していた不当要求行為等対応マニュアルに、近年、官民問わず増加傾向にあるカスタマーハラスメントへの対応に関する内容を加える改定を行いました。

組織として不当要求行為等及びカスタマーハラスメントから職員を守り、働きやすい良好な職場環境を目指します。

1 内容

八幡平市不当要求行為等対応マニュアルで対象としていた不当要求行為等に、新たに行政サービスの利用者等からの申出・要求のうち、その内容に妥当性がないもの、申出・要求を実現するための手段・態様が社会通念上不相当で職員の勤務環境が害されるもの等をカスタマーハラスメントとして定義し、その対策方針と対応例を加えたマニュアルに改定しました。

職員がカスハラを受けた場合、組織として毅然（きぜん）と対応することなどを明記。対応例では、「時間拘束型」「リピート型」「暴言型」等の8類型にカスタマーハラスメントを分け、それぞれの対応例（次ページ）を示しています。

マニュアルを活用し、カスタマーハラスメントから職員を守るとともに、行政サービスの円滑で適正な提供を確保していきます。

2 改定

令和8年1月1日

【担当】

企画総務部総務課 行政係

係長 宮野政智

電話 0195-74-2111（内線 1232）

本市マニュアルでのカスタマーハラスメントの定義

- 1 行政サービスの利用者等からの申出・要求のうち、次に該当するもの
 - (1) 申出・要求の内容に妥当性がないもの
 - (2) 申出・要求を実現するための手段・態様が社会通念上不相当であり、職員の勤務環境が害されるもの
- 2 行政サービスの利用者等からの市の行政サービス等に対する明確な申出・要求がなく、社会通念上迷惑として認められる言動

対応例を示しているカスタマーハラスメントの8累計

1 時間拘束型（長時間にわたり職員を拘束）

対応例 対応できない理由を説明し、応じられないことを明確に告げる等の対応を行った後、30分程度経過しても状況が変わらない場合は、対応を打ち切る。

2 リピート型（理不尽な要求について、繰り返し電話で問い合わせをする、又は面会を求める）

対応例 通話内容を記録するとともに、窓口を一本化して、今後同様の問い合わせを止めるように伝えるなど毅然と対応する。

3 暴言型（怒鳴り声をあげる、侮辱的発言、人格の否定や名誉を毀損する発言をする）

対応例 侮辱的発言等に関しては、相手に通告した上で録音・記録し、程度がひどい場合は、退去を求める。

4 暴力型（殴る、蹴る、たたく、物を投げつける、わざとぶつかってくる等の行為）

対応例 対応者の安全確保を優先するとともに、複数名で対応し、直ちに警察に通報する。

5 威嚇・脅迫型（職員を怖がらせるような行為、脅しをかける行為）

対応例 複数名で対応し、対応者の安全確保を優先し、状況に応じて、警察への通報等を行う。

6 権威型（正当な理由なく、権威を振りかざし要求を通そうとする、特別扱いを求める）

対応例 要求には応じない。

7 庁舎外拘束型（クレームの詳細が分からない状態で、自宅や特定の場所に呼びつける）

対応例 基本的に単独での対応は行わず、クレームの詳細を確認した上で対応を検討する。庁舎外で対応する場合は、公共性の高い場所を指定する。

8 その他（名刺を渡すことを要求する、特定の職員を名指ししての要求、自己主張を繰り返す）

対応例 個別具体的な状況に応じて対応する。

カスタマーハラスメントを含む不当要求には、絶対に応じず、組織として毅然とした対応に努めます。



プレスリリース

「フレイル予防講演会」を開催します

いつまでも心身ともに健康でいるためのポイントを学びます

【発表の要旨】

市は、加齢に伴い、身体のさまざまな機能が低下することにより、健康障がいに陥りやすくなる「フレイル（虚弱状態）」の予防に取り組んでいます。

高齢期の健康寿命を延ばすため「栄養」「運動」「社会参加」の3本柱を中心に、心身ともに健康でいるためのポイントを学ぶ「フレイル予防講演会」を開催します。

1 主催 八幡平市

2 開催日時 2月19日（木）13時30分から開始（12時30分開場）

3 会場 松尾コミュニティセンター

4 対象者 八幡平市民（先着150名）

※安代地区は送迎バスを運行します

5 参加方法等 参加は無料（事前の申し込みが必要です）

電話または、QRコードから申し込んでください。

電話 健康こども課（0195-74-2111（内線1088））

QRコード



申し込みフォーム

6 内容

1) 『健康長寿と幸福長寿の両立を目指して～「フレイル予防」はまさに地域づくり～』

講師 東京大学高齢社会総合研究機構 機構長
未来ビジョン研究センター 教授 飯島 勝矢 氏

2) 就労移行支援事業所による出張販売（12時30分から13時30分まで）

【担当】

福祉部健康こども課 健康推進係
保健師 八角 智美
電話 0195-74-2111（内線1088）

参加
無料



令和7年度 フレイル予防講演会

健康長寿と幸福長寿の両立を目指して
～「フレイル予防」はまさに地域づくり～

開催日

令和8年2月19日(木)

時間

午後1時30分～3時 (開場12時30分)

会場

八幡平市立松尾コミュニティセンター

講師

東京大学高齢社会総合研究機構 機構長
未来ビジョン研究センター 教授

飯島 勝矢 先生



申込は
コチラ

事前に以下のQRコードか電話にて申し込みください。
複数人で参加される場合は、代表者の申込みのみで参加可能です。

申込期限：令和8年1月30日(金)

参加定員：150人



安代地区は会場までの送迎バスを運行します。
バスを利用する方は、1月16日（金）までに
申し込みください。（詳しくは裏面をご覧ください）



開場から開演までの時間、就労移行支援事業所による出張販売を行います。



ご不明な点などございましたら、こちらまでお問い合わせください

〒028-7397 岩手県八幡平市野駄第21地割170番地

福祉部 健康こども課 健康推進係 TEL. 0195-74-2111 (代)

安代地区送迎バスについて



安代地区は送迎バスを運行します。

バスの利用を希望する方は、令和8年1月16日（金）までに参加申し込みと併せてバスの利用をお申し込みください。

【行き】

1 1 : 2 0	兄畠駅 発
1 1 : 3 5	田山駅
1 1 : 4 0	田山支所
1 2 : 0 0	安代総合支所
1 2 : 1 0	赤坂田駅
1 2 : 4 0	松尾コミュニティセンター 着

【帰り】

1 5 : 2 0	松尾コミュニティセンター 発
1 5 : 5 0	赤坂田駅
1 6 : 0 0	安代総合支所
1 6 : 2 0	田山支所
1 6 : 2 5	田山駅
1 6 : 4 0	兄畠駅 着



プレスリリース

「ごみ減量化を考える市民の集い」を開催します

本市のごみ処理の状況を共有し、家庭でのごみ減量化の契機に

【発表の要旨】

市は、ごみ排出量の削減と循環型社会の形成を目指し、市民のみなさんと一緒にごみ減量化を考える市民の集いを開きます。

市民の集いでは、いわて地域脱炭素推進員で県環境アドバイザーの櫻井則彰氏さくらい のりあきを講師に招き、ごみ減量化やリサイクルを内容とした講演を行うほか、本市のごみ排出量やリサイクルの現状などを説明。参加するみなさんと状況を共有し理解を深めます。

1 主催 市公衆衛生組合連合会・八幡平市

2 開催日時 1月 27 日 (火) 13:30 ~ 15:30 (予定)

3 会場 市役所多目的ホール棟 大ホール

4 内容

1) 講演 「私たちの暮らしと環境～ごみ問題、温暖化防止を考えよう！～」

講師 いわて地域脱炭素推進員・岩手県環境アドバイザー 櫻井 則彰氏さくらい のりあき

2) 説明 八幡平市のごみの現状とごみ減量に向けた取組について

説明 市職員

5 参加費 無料 (事前申し込み不要)

少し説明

本市の一人1日当たり家庭系ごみの排出量は、668g²(5年度)と県内で最も多く、最も少ない北上市の1.7倍となっています。

また、本市のごみのリサイクル率は9.8%(5年度)にとどまり、県内14市中、下から2番目となっています。



昨年の市民の集いの様子

【担当】

市民部市民課環境衛生係

副主幹 古川 弥忍

電話 0195-74-2111 (内線 1071)



プレスリリース

地域事業者の宣伝力向上を目的に、メディアセミナーを開催

市内事業者が、ニュース価値を理解した情報発信力を学びます

【発表の要旨】

市は、地域住民や企業に対し、メディアを活用した宣伝手法や報道の仕組みについて具体的な学びを提供することを目的に、「メディア活用力向上セミナー」を開催します。

セミナーでは、報道・経済番組の最前線で活躍する実務者を講師およびファシリテーターとして迎え、講師のトークとファシリテーターとの掛け合いによる進行を通じて、メディアに届く企画・情報とは何かを学びます。

1 主催 八幡平市

2 開催日時 2月6日（金） 13:30～16:00（予定）

3 会場 市役所 3階会議室

4 参加対象 市民及び市内企業の従業員等

5 参加方法等 参加は無料（事前の申し込みが必要です）

QRコードから申し込んでください。



6 内容

1) 第1部 トークセッション

講師の実体験に基づくトークを軸に、ファシリテーターとの掛け合い形式で進行

※メディアは何を「ニュース」と判断するのか。ネタの磨き方、見せ方、仕掛け方・自治体・地域発信で意識すべきポイント

2) 第2部 ワーク

参加者による簡単なワークを通じて、自身の取り組みや地域資源を「メディア目線」で整理・発信する

7 講師

講師：篠原 裕明 氏（株式会社テレビ東京 報道局 総合ニュースセンター 「News モーニングサテライト」デスク
ファシリテーター：進藤 隆富 氏（株式会社テレビ東京 営業局 営業推進部 副部長）

少し説明

株式会社テレビ東京ダイレクトと八幡平市は、令和5年2月に包括連携協定を締結したことを契機に、テレビ番組を通じた八幡平市ならではの魅力の発信による、地域の活性化などの取り組みなどを行っております。

本セミナーは、この連携の一環として実施される、地域住民や地元企業向けのセミナーです。

自社の製品や事業をPRする方法を、メディアを活用して宣伝する手法や報道の仕組みについて具体的な学びを提供し、地域経済の振興に貢献することを目的としています。



【担当】

産業建設部商工観光課

課長補佐兼企業立地推進係長

中軽米 真人

電話 0195-74-2111（内線 1320）

メディアに届く企画・情報とは何か?
広報の常識を変える、実践的メディア活用術。

メディア活用力向上セミナー

テレ東
現役デスク
×
元WBSキャスター
豪華対談!

講師：篠原裕明氏
(テレビ東京 報道局「NEWSモーニングサテライト」デスク)

ファシリテーター：進藤隆富氏
(テレビ東京 元「WBS」キャスター)

元WBSデスクが明かす『ネタのウリ方仕掛け方』

【プログラム】

- 第1部：トークセッション(ニュース判断基準、ネタの磨き方、自治体発信のポイント)
- 第2部：実践ワーク(メディア目線での整理・発信を体感)

【日 時】令和8年2月6日(金) 13:30~16:00

【会 場】八幡平市役所 大会議室

【対 象】市民、市内事業者、職員

【定 員】先着30名様限定!

【参加費】無料!

今すぐ申し込む! (先着順)
詳細・お申込みはこちらから





プレスリリース

令和8年八幡平市議会 第1回臨時会を開催します

【発表の要旨】

八幡平市議会第1回臨時会を招集します。

会期日程（予定）

1月28日（水）午前10時開会

【担当】

企画総務部総務課

課長補佐 根守 緑

電話 0195-74-2111（内線1231）